



50460-XNPC-K0S0 VEZEL 「PERFORMANCE DAMPER®」

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

⚠ ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。
[適合車種] V E Z E L 6 A A - R V 5 - 1 2 0
3. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
4. 本製品の車両への取り付け、純正部品の取り外し・取り付けは、サービスマニュアルと本書に従って、自動車整備工場やホンダディーラーで行って下さい。
5. ボルト及びナットの締め付けには、寸法にあった工具を使用して確実に行って下さい。
6. ブラケット、パフォーマンス ダンパーの取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
7. パフォーマンス ダンパーの取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ったり、ずらしたりしないで下さい。
また、ボルト位置が合わない場合には、無理に取り付けを行わないで下さい。
8. 「PERFORMANCE DAMPER / パフォーマンス ダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

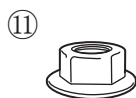
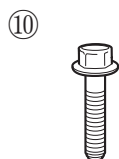
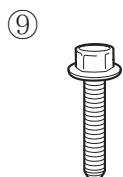
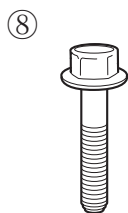
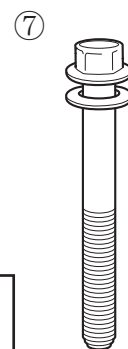
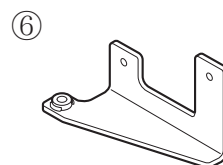
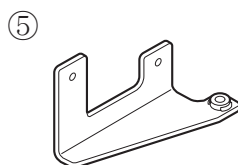
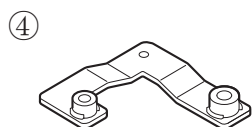
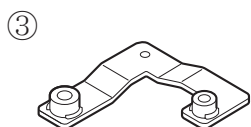
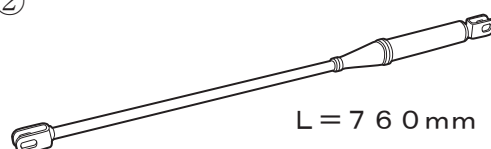
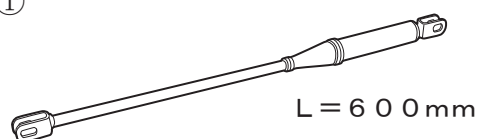
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

取り付け作業者及び、使用されるお客様へのご注意

1. パフォーマンス ダンパーが事故や接触により破損・変形した場合は、直ちに交換するか取り外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンスダンパー (FRONT)	1 ①
②	パフォーマンスダンパー (REAR)	1
③	フロントブラケット (L)	1
④	フロントブラケット (R)	1
⑤	リアブラケット (L)	1
⑥	リアブラケット (R)	1
⑦	ワッシャー付きボルト (M14×90)	2
⑧	フランジボルト a (M12×50)	2 ②
⑨	フランジボルト b (M10×35)	4
⑩	フランジボルト c (M8×30)	4
⑪	フランジナット (M10)	4
⑫	ステッカー	1
⑬	取付・取扱説明書	1



⑫



⑬



本書本文中の使用部品番号は
構成部品表に準じます。

【必要工具】

- ・ドライバー + ・メガネレンチ 14 mm ・エクステンションバー
- ・ボックスレンチ 12 mm、14 mm、17 mm ・クリップリムーバー
- ・トルクレンチ ・イソプロピルアルコール ・ウエス ・ヘックスレンチ 5 mm
- ・スタッビドライバー + ・ラチェットレンチ

I. ステッカーの貼り付け

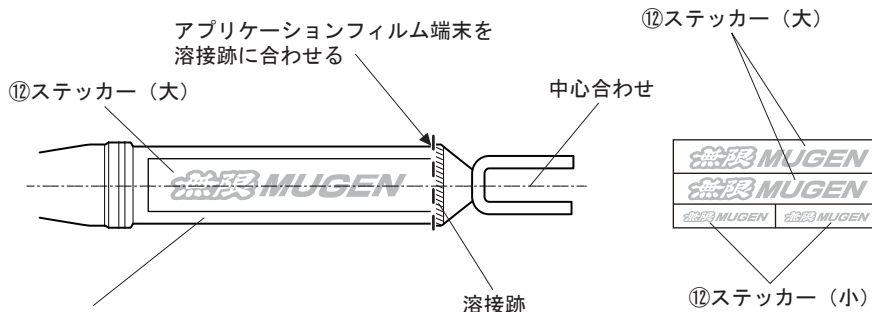
1. ①パフォーマンスダンパー (FRONT)、②パフォーマンスダンパー (REAR) のシリンダー部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
2. ①パフォーマンスダンパー (FRONT)、②パフォーマンスダンパー (REAR) のシリンダー部に⑫ステッカー (大) を貼り付ける。

[使用部品]

⑫ (1)



ステッカー



- ①パフォーマンスダンパー (FRONT)
②パフォーマンスダンパー (REAR)

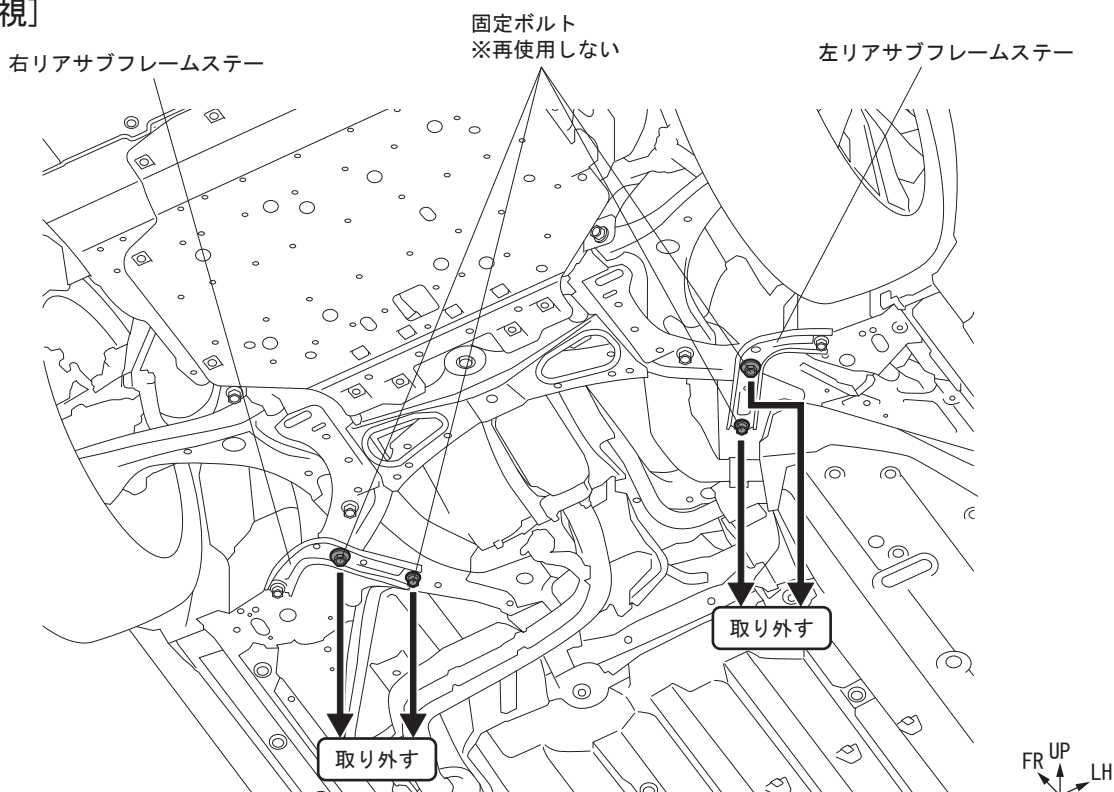
※⑫ステッカー (小) はご自由にご使用下さい。

II. フロント側の取り付け準備

- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。

1. 車両をリフトアップする。(サービスマニュアル参照)
2. 左リアサブフレームステー固定ボルト2本と右リアサブフレームステー固定ボルト2本を取り外す。

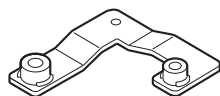
[下面視]



3. ③フロントブラケット (L) 及び④フロントブラケット (R) を⑦ワッシャー付きボルト 2本と⑧フランジボルト a 2本で車両に仮締めする。

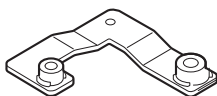
[使用部品]

③ (1)



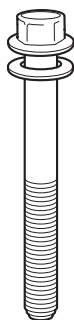
フロント
ブラケット (L)

④ (1)



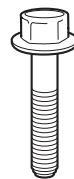
フロント
ブラケット (R)

⑦ (2)



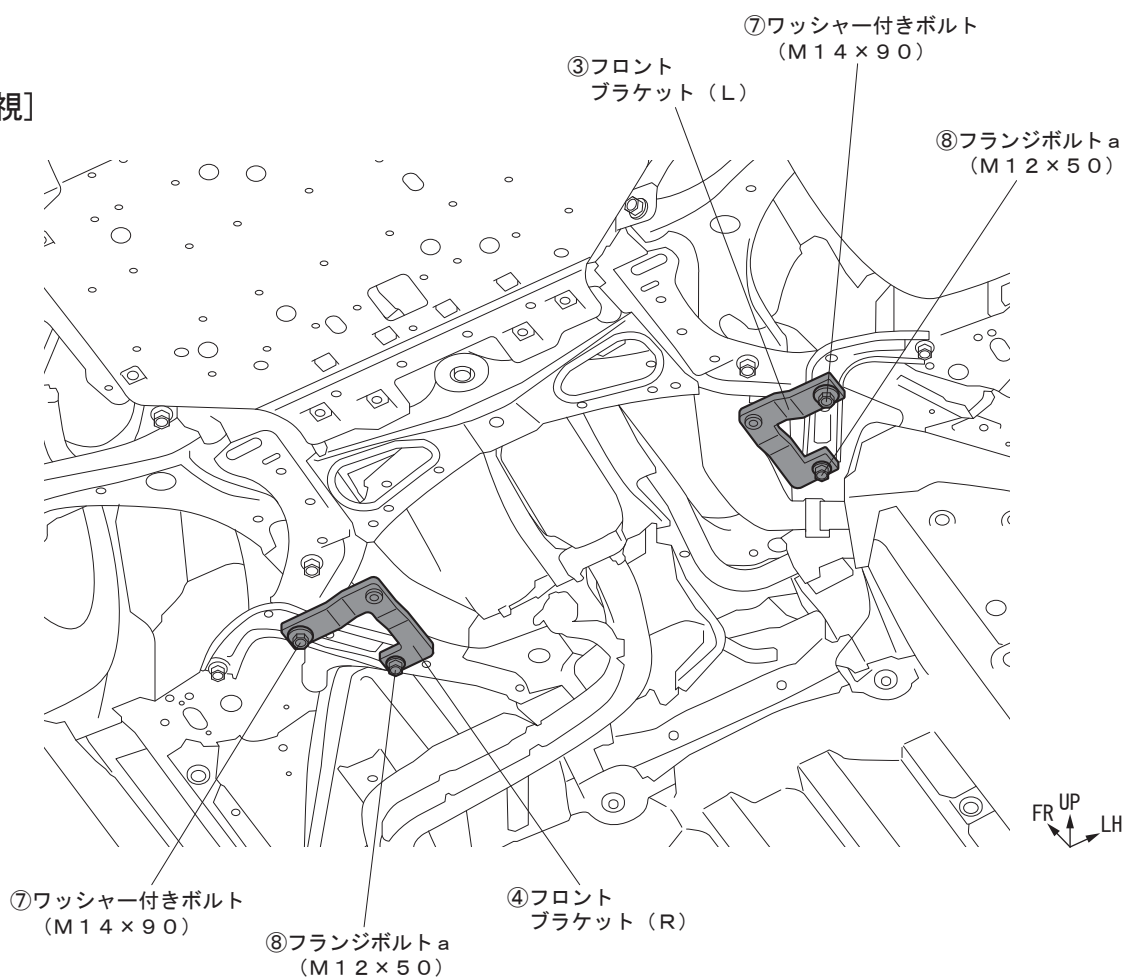
ワッシャー付き
ボルト
(M14 x 90)

⑧ (2)



フランジボルト a
(M12 x 50)

[下面視]



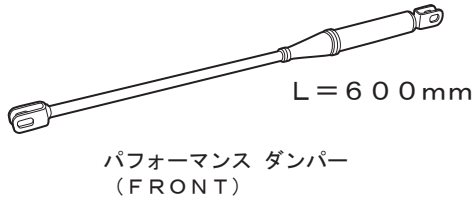
Ⅲ. フロント側の取り付け

- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ①パフォーマンスダンパー (FRONT) を⑨フランジボルト b 2本と⑪フランジナット 2個で③フロントブラケット (L) と④フロントブラケット (R) に仮締めする。

[使用部品]

① (1)



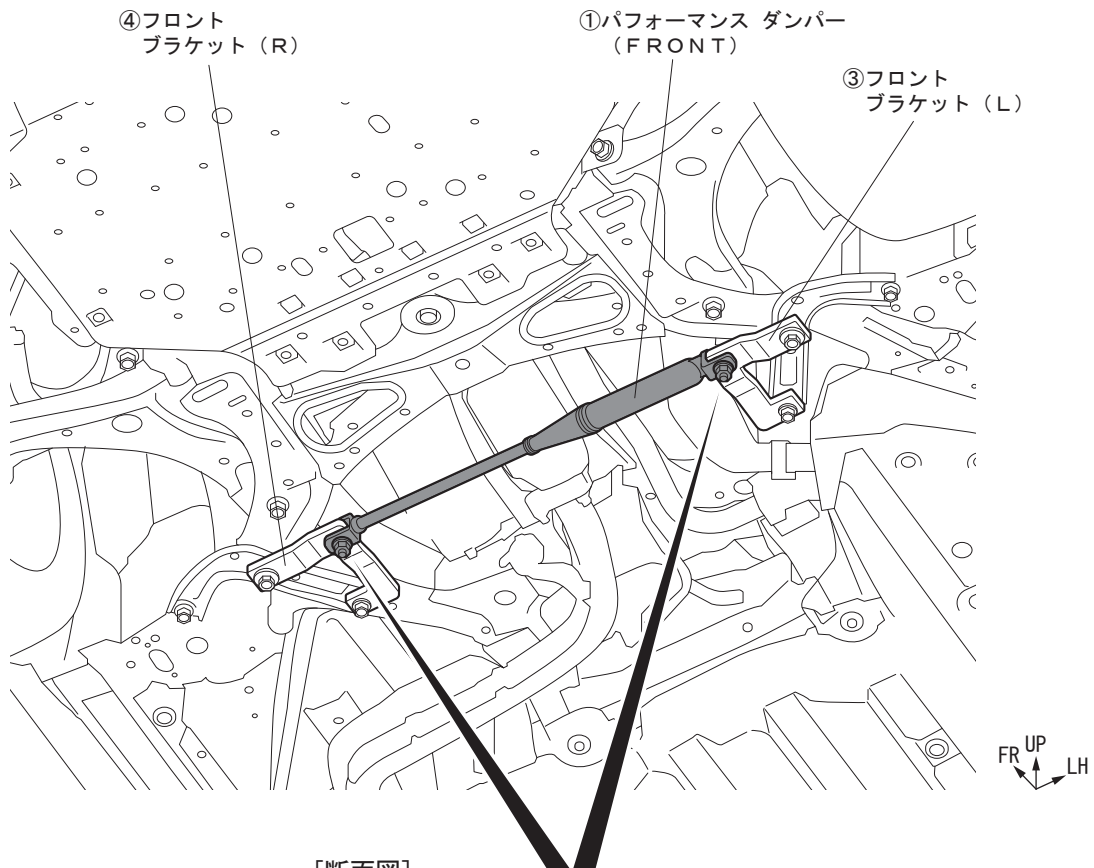
⑨ (2)



⑪ (2)



[下面視]

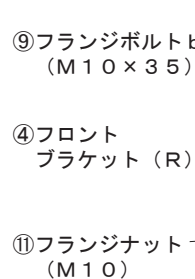


注 意

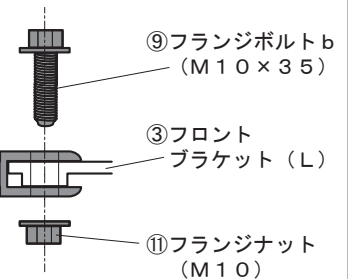
インパクトレンチ
使用禁止

[断面図]

— R側 —



— L側 —



①パフォーマンスダンパー (FRONT)

2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
3. 車両を1 G接地状態（タイヤ4輪が接地した状態）にし、Ⅱ－3で仮締めした⑦ワッシャー付きボルト全2本と⑧フランジボルトa全2本、Ⅲ－1で仮締めした⑨フランジボルトb全2本と⑪フランジナット全2個を下記指定トルクで本締めする。

⑦ワッシャー付きボルト
締め付けトルク：103 N・m

⑧フランジボルトa
締め付けトルク：54 N・m

⑪フランジナット
締め付けトルク：40 N・m

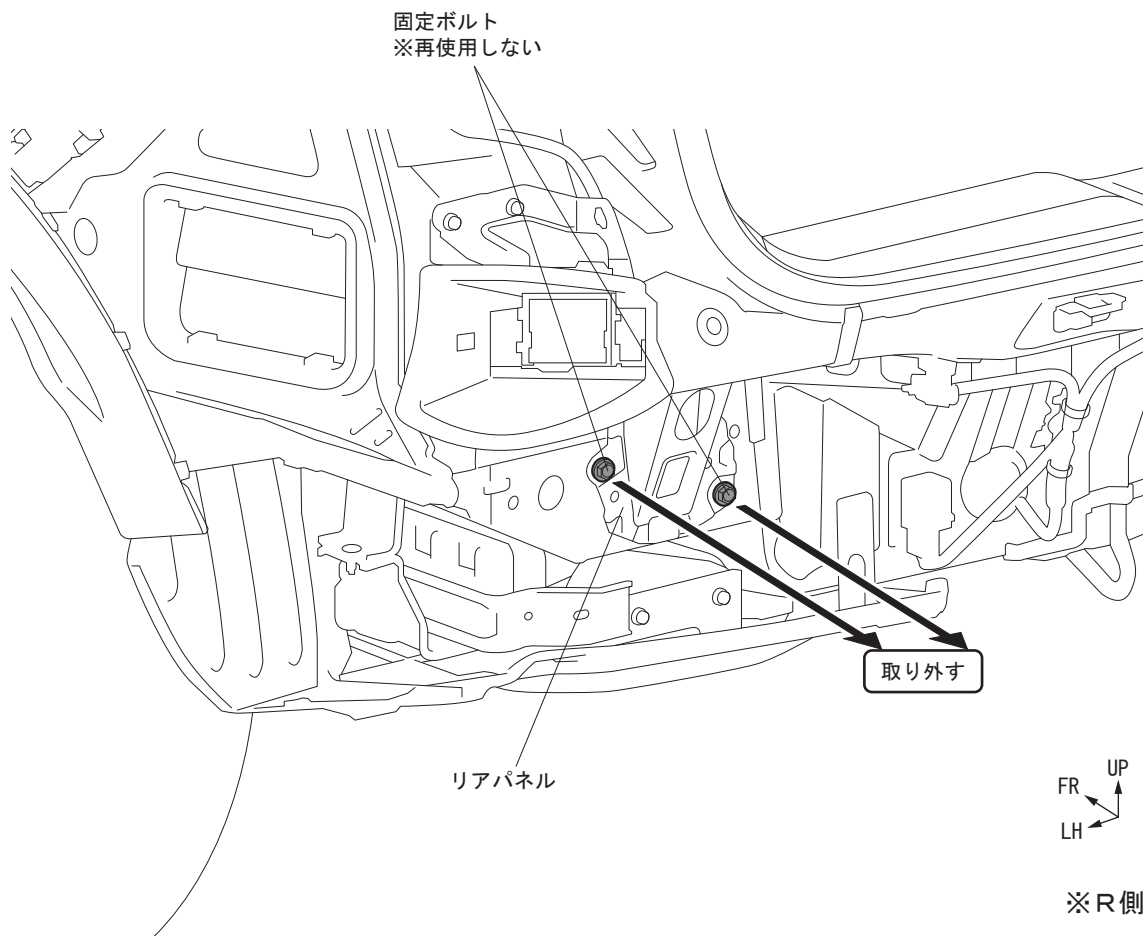
注 意 車両（4輪）が水平な場所で1 G接地状態で締め付け作業を行うこと。

4. 取り付け状態が完全か確認する。

Ⅳ. リア側の取り付け準備

- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。

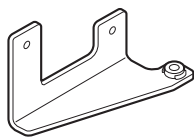
1. リアバンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）
2. リアパネル固定ボルト片側2本を取り外す。



3. ⑤リアブラケット (L) 及び⑥リアブラケット (R) を⑩フランジボルト c 片側 2 本で
リアパネルに仮締めする。

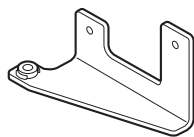
[使用部品]

⑤ (1)



リアブラケット (L)

⑥ (1)

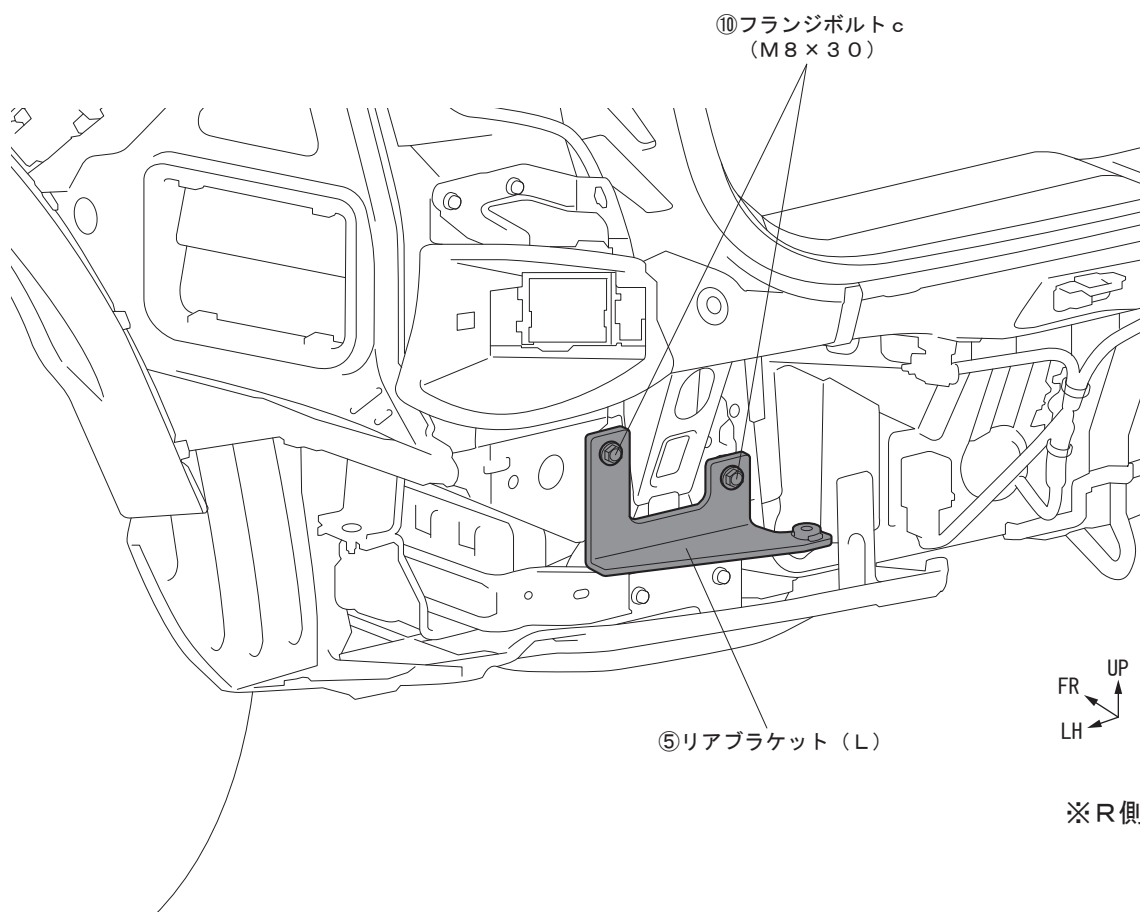


リアブラケット (R)

⑩ (4)



フランジボルト c
(M8 × 30)



※ R側も同様

V. リア側の取り付け

- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ②パフォーマンスダンパー (REAR) を⑨フランジボルト b 2本と⑪フランジナット 2個で⑤リアブラケット (L) と⑥リアブラケット (R) に仮締めする。

〔使用部品〕

② (1)



パフォーマンスダンパー
(REAR)

⑨ (2)

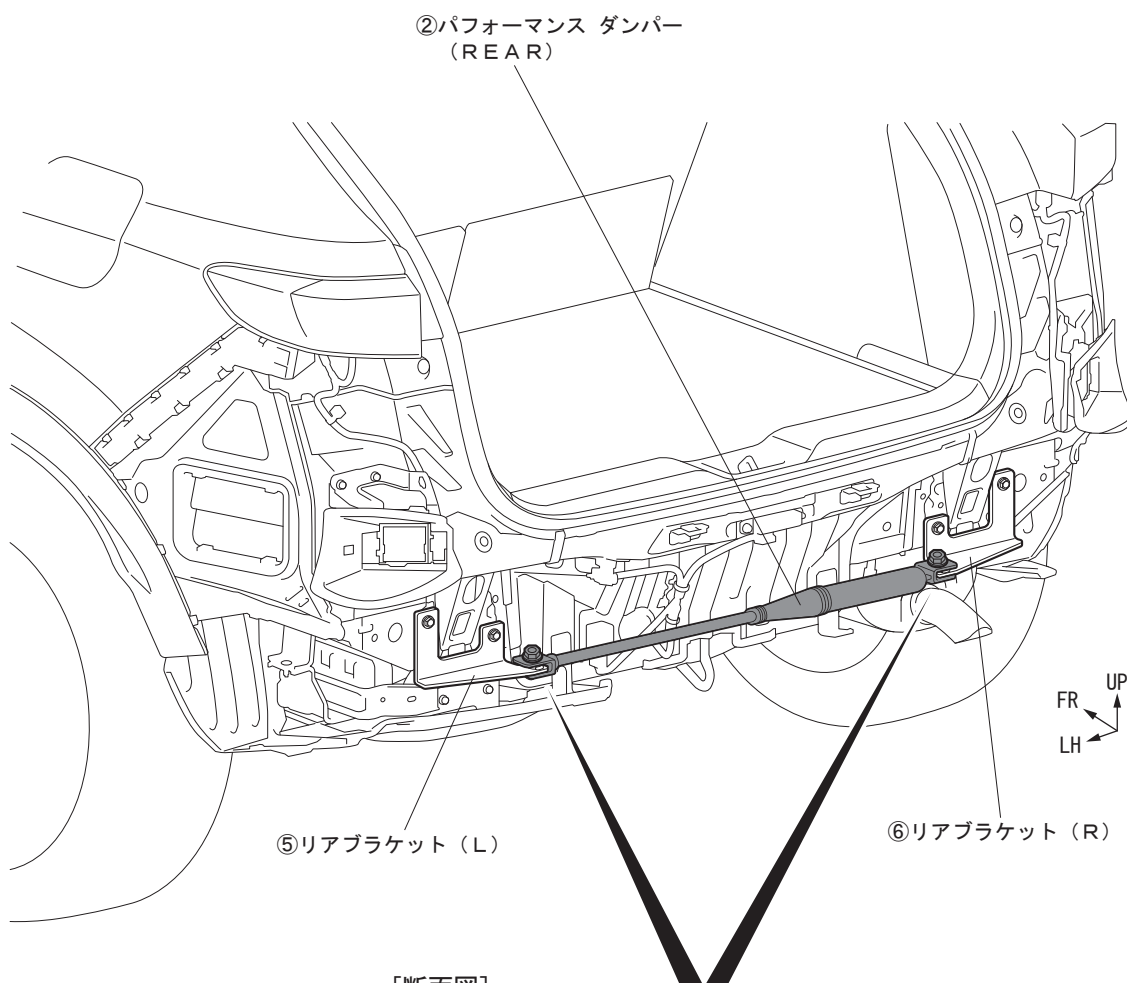


フランジボルト b
(M10 x 35)

⑪ (2)



フランジナット
(M10)



注意

インパクトレンチ
使用禁止

〔断面図〕

— L 側 —

⑨フランジボルト b
(M10 x 35)

⑤リアブラケット
(L)

⑪フランジナット
(M10)

— R 側 —

⑨フランジボルト b
(M10 x 35)

⑥リアブラケット
(R)

⑪フランジナット
(M10)

②パフォーマンスダンパー
(REAR)

2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
3. 車両を1 G接地状態（タイヤ4輪が接地した状態）にし、Ⅳ－3で仮締めした⑩フランジボルトc全4本、Ⅴ－1で仮締めした⑨フランジボルトb全2本と⑪フランジナット全2個を下記指定トルクで本締めする。

⑩フランジボルトc
締め付けトルク：22 N・m

⑪フランジナット
締め付けトルク：40 N・m

注 意

車両（4輪）が水平な場所で1 G接地状態で締め付け作業を行うこと。

4. 取り付け状態が完全か確認する。
5. リアバンパーを復元する。